

年間プログラムタイマユニット(WRT3540K)の設定方法

各部の名称とはたらき

操作部

- 電源ランプ** AC24V入力時に点灯します。
- 特日1動作キー** 翌日を特日1設定または設定解除をさせたい時に使用します。
- 特日2動作キー** 翌日を特日2設定または設定解除をさせたい時に使用します。
- タイマ切キー** タイマ動作を入切します。
- モードキー** 各モード機能を選択する時に使用します。
- サマータイムキー** ※2秒以上押し 現在時刻を1時間進めます。 ※サマータイム移行時に使用します。 通常はOFFとしてください。
- バックライトキー** バックライトを点灯させる時に使用します。 5分間無操作の場合、自動消灯します。
- クリアキー** 入力を取り消す時に使用します。
- リセットキー** 設定内容などをすべて出荷時の状態に戻します。
- カーソルキー** 表示内容を選択する時に使用します。
- 設定キー** 設定などを決定する時に使用します。
- 戻るキー** 設定内容を前の項目に戻したい時に使用します。

液晶パネル表示部

- 動作種別表示
- モード表示
- 設定しているプログラム番号表示
- 動作方式表示
- 時・分表示
- 制御方法表示
- 特日1決定表示
- 特日2決定表示
- 特日設定表示
- 翌日が特日時に点灯
- アドレス表示
- 自動消灯 ON・OFF表示/ 負荷状態表示
- ソーラー設定時の動作パターン表示
- 地区番号表示/ 秒表示/エラー番号表示
- 日入・日出時刻調整表示
- 曜日・特日表示
- 西暦・月・日表示
- サマータイム(+1h)表示
- 同期(補正)完了表示
- タイム切時に点灯

■ご使用前に…モードについて

時計合わせやプログラムを設定するためには、「モード」の選択が必要です。

●モードの種類と機能

液晶表示部の上部の▲マーク・下側の▼マークは、どのモードにあるか示します。「モード」を押すたびに次のようにモードが変わります。

モード	機能
通常	通常運転状態です。
プログラム	タイマ動作のプログラム設定をおこないます。
特日	特日(祝日)設定をおこないます。
時計	現在の日付・時刻を合わせます。
特別	<ul style="list-style-type: none"> 特日1 フル2線の壁スイッチで翌日を「特日1動作」及び解除させるときのアドレス設定をおこないます。 特日2 フル2線の壁スイッチで翌日を「特日2動作」及び解除させるときのアドレス設定をおこないます。 タイマ入/切 フル2線の壁スイッチで「タイマ動作を入/切」させるときのアドレス設定をおこないます。 自動消灯 液晶表示を自動消灯させるためのON/OFF設定をおこないます。 地区 ソーラー制御のための地区設定をおこないます。

モードを押すたびに変わります。

モードについて 時計・地区・プログラム・特日の設定、確認、変更の途中で「モード」を押すと、「設定」を押したところまでの内容を記憶して次のモードに変わります。

<ご注意> 「設定」を押さなければ、設定内容が記憶されません。

■現在時刻の合わせかた

- 「モード」で「▲」マークを「時計」に合わせます。「時刻・年月日」の設定画面になります。
- 「+」「-」で「年」を合わせて「設定」を押します。同様に「月・日・時・分・秒」の順に設定します。 ●秒を設定したとき(「設定」を押したとき)から時計カウンターを始めます。
- 設定が終われば「モード」で「▲」マークを「通常」の位置に戻します。 ●通常モードでないタイマ動作しません。

■任意の時間に「入」「切」させる場合の設定

1. 「モード」で「▲」マークを「プログラム」に合わせます。

2. プログラム番号の設定
設定するプログラムに番号をつけます。 ※番号は1〜30まで設定することができます。 「+」「-」でプログラム番号を選択し、「設定」を押す。

3. 種類の設定
「+」「-」で個別-G(グループ)のいずれかを選択し、「設定」を押す。

4. アドレスNo.の設定
「+」「-」で制御したいアドレスNo.を選択し、「設定」を押す。 ※設定したアドレスNo.は取扱い説明書のプログラム表に記入しておいてください。

5. 動作方式の設定
「+」「-」で「通常」を選択し、「設定」を押す。

6. 「入」時刻の設定
「+」「-」で「時」を選択し、「設定」を押す。 「+」「-」で「分」を選択し、「設定」を押す。 ※設定時間を「-」にされると「入」されません。

7. 「切」時刻の設定
「+」「-」で「時」を選択し、「設定」を押す。 「+」「-」で「分」を選択し、「設定」を押す。 ※設定時間を「-」にされると「切」されません。

8. 動作日の設定
各曜日および特日に動作させたい場合は「●」マークを表示し、動作させたくない場合は「表示なし」を「+」「-」で選択し、「設定」を押す。 ※初期画面は、月〜金までが動作日になっています。

9. 設定が終われば、「モード」で「▲」マークを「通常」の位置に戻す。 ※プログラムの内容は「プログラム表」に必ず記録保管してください。

●エラー表示について

エラー-10 フル2線信号線が接続されていない、短絡している。伝送ユニットの電源が入っていない等。	エラー-11 リモコントランスのトラブル。増幅器の以降の短絡等。	エラー-20 同期出力の短絡等。
---	--	----------------------------

フル2線式リモコン

概要編

商品編

制御編

設計手順編

施工編

付録

フル2線式リモコン